

- 県内4駅頭で、全国3000万(埼玉100万)署名行動 -

- 埼玉 -

## 川越駅前には80名参加！ まるで「お祭り」のような署名行動

9月10日、埼玉では大宮駅、熊谷駅、新越谷駅、川越駅の4駅で埼玉一斉全国3000万(埼玉100万)署名スタートキャンペーンが行われました。

川越駅では、40名近い埼教組と埼高教の組合員と、東野高校の父母10名、さらに自由の森学園の2年生9名と埼玉私教連の組合員合わせて私学関係者が40名、全体で80名が参加して行われました。当日は32度の暑さ、署名行動は一番暑い！14時から1時間30分間行われました。暑い中でしたが、大勢による署名行動で、太鼓は響く、アンパンマンとバイキンマンが登場する、風船だけでなくヨーヨーも子どもたちに配る、まるで「お祭り」のような署名行動でした。



自由の森学園の生徒たち



アンパンマンは大もて！

しかし、外気温は32度

障害児学校から参加した組合員は、「こんなに大勢でやると元気になる」と感想を語り、自分の集めた十数名の署名を嬉しそうに持ち帰りました。

4駅の参加者は196名

この日の参加者は、川越駅80名、大宮駅40名、熊谷駅35名、新越谷駅41名、合計196名。暑い中、教職員も奮闘しましたが、大宮でも川越でも着ぐるみを着たのは高校生。高校生が太鼓叩き、着ぐるみを着て大奮闘しました。

今年、埼玉では文字通り100万筆達成を目標に、父母と教職員、そして高校生が、力を合わせて頑張っています。

埼玉教育新聞  
8月30日号  
より

ハンドマイクでの訴えの間に、2回、自由の森学園の2年生9名が授業で学んだ太鼓を発表しました。9名が、おそろいのハッピを着て、3張の太鼓で力強くたたきました。駅前を通る人々も足を止めて、見入っていました。

また、アンパンマンとバイキンマンの着ぐるみが登場し、風船やヨーヨーを子どもたちに配り、署名を訴えました。アンパンマンは「大もて」！女子中・高校生にせがまれて記念写真を撮ったりと、32度のなか、ほほを赤くして奮闘していました。

ハンドマイクでの訴えは、埼玉私教連と埼教組・埼高教(全教も一人)の組合員が、次々と、交互にハンドマイクを持って、自分の学校や子どものことや、教育基本法改悪の問題を語り、そして、3000万署名の30人学級実施と私学助成増額に果たしてきた役割を語り、署名を呼びかけました。川越では地元の高校の文化祭のためか、駅前は大賑わい、とりわけ中学生・高校生が多く通り、次々と足を止め、署名していました。

### 教育基本法と100万署名の運動を結んで！

100万署名の季節がやってきました。今年度は今まで以上の運動が求められています。それは秋に国会で審議される教育基本法改悪案を廃案に追い込む運動と平行してすすめるなければならないからです。このとりくみを大きく前進させるカギは、埼教組の誇る100万署名活動と教育基本法改悪阻止の署名活動をどう結びかにかかっています。駅頭やお祭りでの宣伝活動にも、父母に依頼した署名活動にも、この2つを大胆に押し出してアピールしていきましょう。